

平成28(2016)年度  
東京大学大学院公共政策学教育部  
大学院科目等履修生(学部・大学院一貫教育プログラム)出願手続きについて

1. 受入人員 若干名
2. 出願資格 東京大学の学部を平成28年度に卒業見込みの者
3. 入学時期 平成28年4月又は9月
4. 出願手続
  - (1) 受付期間  
平成28年3月22日(火)～24日(木)  
※Aセメスター開講科目のみの履修を希望する者は、別に設定(8月頃予定)する受付期間に手続きすることも可。
  - (2) 願書提出先  
提出書類を公共政策大学院係の窓口を持参すること。
5. 提出書類
  - (1) 大学院科目等履修生入学願書
  - (2) 科目履修願
  - (3) 学部の成績証明書(前期課程を含む出願時現在のもの)  
※(1)、(2)の様式は、公共政策大学院ウェブサイトトップページのNewsからダウンロードすること。  
<http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/news/2016/03/news20160304.html>
6. 選考方法  
書類審査による。  
ただし、必要に応じ面接試験を行うことがある。該当する場合は、別途通知する。
7. 入学許可通知
  - (1) 選考の結果、新規出願者で履修を許可された者には「入学許可通知書」及び「入学手続要領」等を、不許可となった者には「入学不許可通知書」を4月8日(金)にそれぞれ本人宛に郵送する。
  - (2) 許可の通知を受けた者は、所定の期間内に必要な手続を行うこと。所定の期間内に手続を行わない場合には、入学しないものとして取り扱うので注意すること。
8. 注意事項  
本教育部で大学院科目等履修生の対象科目として承認された科目のみ、履修することができる。
9. 問い合わせ・連絡先  
東京大学大学院公共政策学教育部公共政策大学院係  
本郷キャンパス第2本部棟6階 電話03-5841-1349  
開室時間：9時～12時、13時～17時

## 対象科目

S セメスター開講

(授業期間：平成28年4月5日～7月12日)

科目番号	科目名	単位数	担当教員	曜日・時限
5113021	Microeconomics	4	鈴木 通雄	水曜2限及び金曜3限
5113031	Practice Session for Microeconomics	1	鈴木 通雄	水曜3限

※科目番号 5113021 と 5113031 は、セットで履修すること。

A セメスター開講

(授業期間：平成28年9月26日～平成29年1月11日)

科目番号	科目名	単位数	担当教員	曜日・時限
5113041	Macroeconomics	4	楡井 誠	火曜6限及び水曜6限
5113051	Practice Session for Macroeconomics	1	楡井 誠	火曜3限

※科目番号 5113041 と 5113051 は、セットで履修すること。

平成28(2016)年度大学院科目等履修生  
(学部・大学院一貫教育プログラム)

平成26年度より、本学の学部学生が科目等履修生として大学院の科目の単位を修得することができるようになりました。

公共政策大学院では、この制度を利用して、**公共政策大学院に進学を志望する学部在學生（若干名）に対して、下記科目を科目等履修生として履修できるプログラムを始めました。**

Microeconomics 及び Practice Session for Microeconomics（Sセメスター開講 合計5単位）  
Macroeconomics 及び Practice Session for Macroeconomics（Aセメスター開講 合計5単位）

これらの科目は経済政策コースの必修科目であり、その他の経済分野の授業科目に先だって履修すべき科目と位置づけられています。学部中級レベルのミクロ経済学、マクロ経済学の知識があることが履修の前提となります。

<イメージ>

平成28年度	学部4年生 科目等履修生として単位取得（10単位まで算入可）
平成28年9月	公共政策大学院入学試験（一般入試）を受験 合格した場合
平成29年度～30年度	公共政策大学院学生として在籍（科目等履修生として修得した 単位が認定される）

- ・ **科目等履修生として修得した単位は、10単位を上限として公共政策大学院の修了要件である46単位に算入することができます。**この制度のメリットは、大学院で修得する必要がある単位を減らすことで、在学時の学習の自由度が増すことです。例えば、修了要件を気にせず海外留学での学習計画を建てられる、ダブルディグリー取得に必要な期間を短くできる、単位にならないインターンに従事することができる、などの活用方法が考えられます。
- ・ ただし、専門職学位課程の規定により、在学年限（2年）を短縮することはできません。
- ・ プログラム参加者は書類選考によります。
- ・ 公共政策大学院に進学するためには通常の公共政策大学院専門職学位課程入試を受験し、合格する必要があります。
- ・ 書類選考で選ばれなくても、その後の通常の大学院入試を受験できます。入試で不利に扱われることはありません。
- ・ 4月入学だけでなく9月入学の国際プログラムコースに進学する学生も、このプログラムに参加できます。
- ・ 科目等履修生として修得した単位は、学部卒業に必要な単位に算入することはできません。

本プログラム詳細は、[公共政策大学院ウェブサイトトップページ News](http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/news/2016/03/news20160304.html) を参照してください。

<http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/news/2016/03/news20160304.html>